

～枕崎市教育委員会だより～



# TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会  
枕崎市中央町184番地  
TEL 0993-72-0170  
FAX 0993-72-0677

## 巻頭言

### デジタル・シティズンシップ教育の推進

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

先日、列車に乗った際、何となく違和感を感じた。それは、車内の乗客がほぼ全員、下を向いていたことだった。車窓を見ながら景色を楽しむ訳でもなく、会話をするでもなく、ただひたすら下を向いていた。いったい、何に注目しているのだろうと思い、観察すると、家族連れやペア、個人を問わず、ほとんどが会話をせずにスマートフォンを操作したり、見つめていたりしていた。確かにスマートフォンは、デジタル機器としてパソコン同様、人類の歴史の中でもトップ3に入るくらいの発明であり、文明の利器である。かつて、高価なものであるがゆえに大人しか持てなかったスマートフォンは、普及を考えた携帯各社が電話機本体の安価な販売や家族割などをスタートさせ、いつの日からか子供たちもまでが持てるようになった。

ちなみに、本市のスマートフォン(含携帯電話)所持率は、小学生が34.6%、中学生が71.7%である(R5末)。このように、多くの子供たちがスマートフォンを持つようになってから親子間や友人、知人間の連絡などが大変、便利になった一方で、インターネットを介したトラブルに巻き込まれることも起こっている。前出の本市の調査では、何らかのトラブルに遭遇したという実態は、小学生が14.7%、中学生が8.5%であった。その内容としては、「他人からのしつこいメールや迷惑メールが届くようになった。」「悪口やいやな噂を書き込まれた。」「SNS上で仲間はずれにあった。」等々であった。また、スマートフォン等のインターネット接続機器使用について家庭内でルールを決めているかについては、「決めていない」と回答したのが小学生24.8%、中学生42.1%で、特に中学生はルールを決めていない家庭が多かった。全国的なトラブル例ではあるが、保護者から知られないように子供が利用したゲームが実は有料で、代金を課金されたり、悪質なネット販売に騙され、十万単位の多額の支払いを請求されたりといった犯罪性の高い事件に巻き込まれている。さらに、毎日のように報道されている匿名・流動型犯罪グループ(通称:トクリュウ)がSNS等を利用して実行犯を闇バイトとして募集し、特殊詐欺や強盗といった事件を広域にわたり起こしている。以上のようなトラブルや犯罪に巻き込まれていくほとんどの入口がスマートフォン(携帯電話)である。

しかし、子供たちにスマートフォンなどのデジタル機器の使用は「危険だから使わせない」のでは、一人一台端末の活用が進み、目ざましく進化する情報社会に対応していく資質は育たない。政府の総合科学技術・イノベーション会議の報告書の中に、次期学習指導要領では、現在の「情報モラル教育」を現状に合わせて検討し、「デジタル・シティズンシップ教育(優れたデジタル市民になるために必要な能力を身につけることを目的とした教育)」を各教科等で推進することが触れられている。そこで、枕崎市教育委員会では、令和5～6年度の2か年の実証事業を経て、7年度から本格的にデジタル・シティズンシップ教育事業を推進することとした。それは、「～してはいけない」といった、「ルール遵守」の意味合いの指導が多いこれまでの「情報モラル教育」から脱却し、これからの社会において自らがデジタルツールを用いる際に「責任ある市民」として参加するために、様々な観点から自分で考え、行動するための知識を養えると考えたからである。学習は外部講師により、講話と教材を使って進めていく予定だ。子供たちを対象としているが、ネットいじめ等の課題が世間では散見され、その防止と根本的な解決が求められるため、PTAなどで保護者向けの学習も計画している。

枕崎市の子供や市民が将来、ネット社会で被害者にも加害者にもならないためにもデジタル・シティズンシップ教育の推進に努めていきたい。

3月の行事予定		
日	曜	行事
1	土	子ども会新育成会長・インリーダー研修会
2	日	
3	月	図書館休館日 県立高校卒業式
4	火	
5	水	第5回事務職員研修会・公立高校入試
6	木	公立高校入試
7	金	
8	土	土曜授業
9	日	
10	月	図書館休館日 市P連臨時運営委員会
11	火	
12	水	中学校卒業式・地区館連絡会②
13	木	
14	金	市民あいさつ運動
15	土	青少年育成の日
16	日	家庭の日 市民会館休館日
17	月	図書館休館日
18	火	
19	水	すくすく講座
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	小学校卒業式 図書館休館日・3学期給食終了
25	火	小・中学校修了式
26	水	春季休業(～4/6)・市子連会計検査
27	木	館内整理日(図書館)
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	図書館休館日

### 市生涯学習フェスティバル

2月9日(日)、令和6年度枕崎市生涯学習フェスティバルを市民会館大ホールで開催し、約450人の方々に来場していただきました。当日は、開会行事の後、青少年健全育成や社会教育に尽力された個人・団体の方々への表彰、県国際協力体験事業参加者による体験活動発表、金山校区子ども会によるDVD映像での活動報告、公民館講座や自主学習講座の学習成果発表等がありました。

その後、黒川タツさん・剛さん親子による講演があり、人生いくつになっても前向きにチャレンジし続けていくことの大切さをお二人に熱く語っていただきました。

最後には、「おじさんと小娘」によるミニライブがあり、歌い手2人がつくり出した雰囲気や酔いしれながら、音楽のもつ魅力を観客全員が存分に味わいました。

また、会場には学びの成果である各種作品等も展示され、今年度の学びを振り返る意味でも有意義な機会とすることができました。

開催にあたり、御協力いただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。



生涯学習フェスティバルの様子

### 南薩地区教育論文

教育論文とは、学校の先生方が、自らの1年間の実践を記録としてまとめたものです。今年度は67編の教育論文が応募されました。

南薩地区で審査会が実施され、枕崎市は団体、個人ともに多くの受賞がありました。南薩地区審査会における本市分の審査結果は、以下のとおりです。

#### 団体

学校賞：桜山小、別府小、枕崎中  
奨励賞：枕崎小、桜山中、別府中、立神中

#### 個人

特選：9人(桜山小、別府小、立神中)  
準特選：8人(枕崎小、別府小、枕崎中、立神中)

受賞された学校、先生方、おめでとうございます

### 子供の移動経路・通学路等の安全推進会議

1月28日(火)に、サン・フレッシュ枕崎で第2回子供の移動経路・通学路等の安全推進会議が開催されました。

今回は、8月に実施された合同点検箇所における対策の進捗状況について、関係機関と共有しました。複数の危険箇所については、「スピード落とせ」の路面標示やラバーボールの設置などの対策が完了しています。また、その他の危険箇所についても、改善計画が立てられ、対策が進められています。写真は、桜山校区の対策完了箇所です。

来年度以降も、関係機関が連携し、子供の通学路及び移動経路の安心・安全について、対策を検討していきます。



対策箇所の様子

### 枕崎牛生産者との交流授業・交流給食

1月27日(月)に立神小学校で、枕崎牛生産者と3年生児童との交流授業・交流給食が行われました。児童は、枕崎牛の生産・肥育・出荷までの説明に興味深く耳を傾け、生産者に積極的に質問するなど、地元食材への学びを深め、地元食材に対する誇りを感じているようでした。

この日の給食は、枕崎牛生産者、JA南さつま、(株)福永産業から提供された枕崎牛30kgを「枕崎牛のきんぴら」に調理し、市内すべての小中学校に提供しました。児童は交流給食を通して、枕崎牛を味わい、生産に関わる方々へ感謝して食事をする大切さを学んでいました。



交流授業の様子

### 多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

#### 特別支援教育とICT

特別な支援を要する児童生徒に対しては、タブレット端末等のICT機器の利用が教育効果を高めることが知られており、以前から利用されてきました。用途と代表的なアプリを一部、御紹介します。

#### 学習アプリ(教材作成も可能なアプリ)

プリントと違い、学習の○×がその場で表示されるので、学習の定着率が高いと言われています。

例：Kahoot!、Quizizz、など

#### スケジュール管理アプリ

自分のスケジュールを管理し、急な予定変更への心理的安定や不注意症状の緩和に効果があります。

例：グーグルカレンダー、コンダクター など

#### 拡大代替コミュニケーションアプリ

自閉症スペクトラム症や場面緘黙等による発語の困難をサポートしてくれます。

例：Droptalk、Voice4u(どちらも有料) など